



特定非営利活動法人 上越地域活性化機構

## 平成27年度 臨時総会

日時：平成27年10月13日(火) 13:30~14:30  
会場：上越市春日謙信交流館

### 次 第

1. 開 会
2. 定足数の確認
3. 理事長挨拶
4. 議長選出
5. 議事録署名人の選任
6. 議案審議
  - ・ 第1号議案 平成27年度事業計画一部変更承認の件  
(デジタルサイネージ事業に伴う変更)
7. 閉 会

## デジタルサイネージ事業の現況報告（平成 27 年 9 月現在）

3 月 14 日の北陸新幹線開業に合わせて、上越妙高駅構内の SAKURA プラザに設置された「120 インチ大型ディスプレイ」と「60 インチタッチパネル式ディスプレイ」の 2 つのデジタルサイネージを、ORAJA が上越市より借り受けて運用を開始いたしました。

本事業は、平成 25 年より上越市観光振興課様と協議を重ね、平成 26 年 8 月にプロポーザルの入札にて ORAJA が採択を受けました。その後、ORAJA 会員の皆様に本事業への協業を呼びかけ、その結果、広告代理業を営む 3 社より参加表明を頂きまして、広告募集業務を開始いたしました。

100 年の計という大プロジェクトでもあることから、クライアントからは前向きな反応も多く、明るい兆しを以って取り組んで参りました。

しかし、上越妙高駅周辺の状況からも分かるように、積極的な出稿者は極僅かであり、駅周辺の開発状況と鑑みながら経過を見守る意向が大多数であり、予想を大きく下回る結果となりました。

このような状況を踏まえ、本事業の運営に関わる会員企業の 6 社で定期的に協議を重ね、現状の分析と対策に知恵を絞り、現状の課題や問題等も見えて参りました。

現在は、当初の広告掲載料を見直し、ニーズに応えたリーズナブルな料金体系に改訂し、さらにデジタルサイネージの弱点とも言われているロール表示方式を工夫・改善し、新たに募集を開始したところです。更には現状の課題である広告募集に関する責任や、体制についても再検討し、しっかりとした組織体制の下に業務を遂行して参りたいと考えております。

新聞報道でもあったように、上越妙高駅の利用者は、当初 1 日当たり 3,000 人と予測されていましたが、実際には 1 日当たり 3,800 人と、この予想をはるかに上回る利用者でした。上越地域の中で上越妙高駅は広告に関するポテンシャルが高い場所であると自負しておりますので、ORAJA 会員企業様からも出稿をお願いしたいと存じますし、更にはお知り合いの企業様のご紹介もお願いいたします。

以上

## 設立趣意書

「アベノミクス3本の矢」この言葉を聴き始めて随分と時間が経過しましたが、我が国の景気は足踏みの状況です。地方経済は未だ疲弊状況と言っても過言ではないかと思えます。しかしながらこれは政治だけの原因では無いように思います。

日本の地方都市のほとんどは有力な地場産業を持っていません。地方都市のほとんどは公共事業だけに寄りかかって生きてきました。

公共事業の恩恵を求めるばかりで「どうすればこの地域に住みたいと思う人が増えるのか」「この地域ではどんな事業ができるのか」「自分達はどんな価値を生み出せるのか」「地域的な特徴や歴史的背景を活かした地場産業とは何なのか」といったことを考えてこなかった我々地域住民にも責任があるのではないのでしょうか？

今年3月14日に北陸新幹線が開通して半年が過ぎようとしています。上越妙高駅の乗降客は予想を上回る人数になっていますが、この地域はこの大事なチャンスを活かさきれているのでしょうか？

新幹線開通と同時にNPO上越地域活性化機構（以下、ORAJAと言う。）では、上越市から委託を受け、駅改札口正面に120インチの大スクリーンによるデジタルサイネージ（以下、DSと言う。）事業と観光案内システム（ルートコンシェル）をスタートさせました。しかしながら、8月末現在のDSの一般利用広告枠は当初予定した契約数を下回る結果となりました。原因として、冒頭述べたように、この事業を活かし、どんな価値を生み出せるのか、そしてその価値がどのように地場産業の掘り起こしに繋げるのかを、ORAJAが真剣に考え伝えきれておらず、人任せであったことに重大な要因があったように思います。

この事からこれまでどおりORAJAが事業主体として運営した場合、次の3つが大きな懸念事項が今後の事業運営の障害となることが予想されます。

1. 素早い意思決定と行動が出来ない。（※1）
2. 責任の所在が明確でない。（※2）
3. 事業収益の配分が出来ない。（※3）

以上の事由からこれを契機とし、ORAJAとの連携はこれまで以上に密接に保ちながらも、早期にDS事業運営を確実かつ継続・拡大するための事業体（合同会社）設立を発起するものです。

平成27年9月吉日

合同会社設立準備委員会

※1) NPOの場合、事業内容を変更する場合など臨時総会の決議が必要で意思決定からの行動が遅い。合同会社とすることで、役員会（理事会）決議事項で処理でき、素早い事業運営が可能になる。

※2) 一概には言えないがNPOは、企業と比較し責任の所在が不明瞭。特に多額な借入に対する返済責任が、事業に携わった関係者の責任と一般会員の責任が問題となることが懸念される。

※3) DS事業は収益事業であるが、NPOは利益配分ができない。事業運営が軌道化した場合、収益の取り扱いが問題となることが懸念される。

## 平成27年度 特定非営利活動会計（特別会計）予算【変更】（案）

特定非営利活動法人上越地域活性化機構  
(単位：円)

## 【収入の部】

|                 |                               | 27年度当初予算   | 27年度予算     | 摘要                                  |
|-----------------|-------------------------------|------------|------------|-------------------------------------|
| 事業立ち上げ資金        |                               | 0          | 0          |                                     |
| 事業収入            | 上越妙高駅デジタルサイネージ機器設置            | 0          | 0          |                                     |
|                 | 広告料                           |            |            |                                     |
|                 | 自治体(上越市, 妙高市, 柏崎市, 十日町市, 佐渡市) | 1,080,000  | 1,080,000  | 25契約×4万円                            |
|                 | 企業                            | 12,804,480 | 7,224,000  | 2015年9月末時点までの契約と<br>10月以降の計画変更内容を反映 |
| 借入金 ※1          |                               |            | 7,500,000  | 日本政策金融公庫、合同会社                       |
|                 | 小計                            | 13,884,480 | 15,804,000 |                                     |
| 雑収入             | 預金利息                          | 0          | 0          |                                     |
| 当期収入合計(A)       |                               | 13,884,480 | 15,804,000 |                                     |
| 前期繰越金(B)        |                               | -3,685,871 | -3,685,871 |                                     |
| 収入合計(C)=(A)+(B) |                               | 10,198,609 | 12,118,129 |                                     |

## 【支出の部】

|              |                    | 27年度当初予算   | 27年度予算     | 摘要                |
|--------------|--------------------|------------|------------|-------------------|
| 事業費          | 上越妙高駅デジタルサイネージ機器設置 | 0          | 0          | JMiX、品川アート・プロ     |
|              | 事業企画管理費            | 2,160,000  | 2,160,000  | JTEC、JMiX(H27年度分) |
|              | ホームページ制作費          | 0          | 0          | JTEC              |
|              | パンフレット制作費          | 108,000    | 108,000    | アド・クリーク           |
|              | デジタルサイネージクラウド接続料   | 32,400     | 32,400     | JMiX(12ヶ月分)       |
|              | ネットワークホスティング       | 194,400    | 194,400    | ホームページ、ルートコンシェル   |
|              | 運営管理環境構築費          | 0          | 0          | JMiX              |
|              | 運営管理費              | 1,036,800  | 1,036,800  | JMiX(12ヶ月分)、合同会社  |
|              | 広告制作・管理            | 1,749,600  | 1,575,500  | JTEC、合同会社         |
|              | システム利用料            | 2,106,000  | 1,241,125  | 丸互、合同会社           |
|              | ルートコンシェル検索エンジン利用料  | 1,980,720  | 1,980,720  | 丸互、合同会社           |
|              | デジタルサイネージ賃借料       | 2,280,000  | 2,280,000  | 上越市役所(H27年度分)     |
|              | 借入金返済 ※1           |            | 949,738    | 日本政策金融公庫(H27年度分)  |
|              | 小計                 | 11,647,920 | 11,558,683 |                   |
| 管理費          | 事務局経費              |            |            |                   |
|              | 事務委託費              | 388,800    | 388,800    | 事務局               |
|              | 諸会費                | 0          | 0          |                   |
|              | 通信費                | 1,000      | 1,000      |                   |
|              | 交通費                | 20,000     | 20,000     | DSJ2015           |
|              | ネットワークホスティング       | 0          | 0          |                   |
|              | 租税公課               | 0          | 0          |                   |
|              | 交際費                | 0          | 0          |                   |
|              | 消耗品費               | 10,000     | 10,000     | 名刺(2名)            |
|              | 手数料                | 2,000      | 2,000      |                   |
|              | 決算処理及税務申告業務委託      | 0          | 0          |                   |
|              | 会議費                | 0          | 0          |                   |
|              | 広告宣伝費              | 0          | 0          |                   |
|              | 特別損失               | 0          | 0          |                   |
|              | 小計                 | 421,800    | 421,800    |                   |
| 予備費          |                    | 0          | 0          |                   |
| 当期支出合計(D)    |                    | 12,069,720 | 11,980,483 |                   |
| 次期繰越金(C)-(D) |                    | -1,871,111 | 137,646    |                   |

※1 収支を表現するために、借入金、借入金返済を表現しています。